

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 熊澤利和	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>1) 成果説明 (大要)</p> <p>(1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】</p> <p>本年度の教育、研究、社会貢献等の分野に関する成果は、以下の3点に集約される。一点目は、伊藤亜都子准教授が主担当として2011年に群馬県藤岡土木事務所受託事業のヒアリング調査、アンケート調査等手懸かりにして、地域政策研究(高崎経済大学)に掲載し報告した。</p> <p>二点目は、厚生労働省により在宅におけるターミナルケアが推し進められるなか、ビハーラ病棟(緩和ケア病棟)で利用できる入院前から退院後までの患者及び家族に対するサービスメニューの検討の経過を学会報告した。</p> <p>三点目は、ターミナルケアにおける終末期鎮静について医師がどのようにとらえているかヒアリング調査を実施した結果をもとに、ターミナルケア(緩和ケア)における課題等を考察しその結果を地域政策研究(高崎経済大学)に掲載し報告した。なお、二点目及び三点目は研究として継続中である。</p> <p>(2) 【学内業務の分野】</p> <p>学内業務の分野では、地域政策研究センター長として、本学研究センターが行っている事業を中心としたニュースレターを新規に発行した。(2011年が第1号)それをもって関係機関、市民への広報を実施した。初年次は震災関連に対する本学の取り組みを中心にまとめ市民、支援者等に報告できるように配布を行った。プロジェクト研究の成果を関係機関、高崎市議会、地域政策セミナー等に成果物をもって報告し、本研究センターの地域社会における位置づけを広報する努力をしてきた。</p> <p>2) 成果報告(結果)</p> <p>(1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】</p> <p>【論文等】</p> <p>①伊藤亜都子 飯島明宏 高橋美佐 友岡邦之 熊澤利和 『神流湖周辺の地域づくりにおける政策的課題 その1』 地域政策研究(高崎経済大学) 第15巻 第2号 2013年1月 pp.61~75 (B5)</p> <p>②伊藤亜都子 飯島明宏 高橋美佐 友岡邦之 熊澤利和 『神流湖周辺の地域づくりにおける政策的課題 その2』 地域政策研究(高崎経済大学) 第15巻 第3号 2013年2月 pp.213~229 (B5)</p> <p>③熊澤利和 『地域ケアと自殺に関する一考察—神流湖イメージアップ検討会社会調査を手懸かりとして—』 地域政策研究(高崎経済大学) 第15巻 第2号 2013年1月 pp.43~59 (B5)</p> <p>④熊澤利和 『緩和医療における"Terminal Sedation"は私たちに何をもたらしたか?』 地域政策研究(高崎経済大学) 第15巻 第3号 2013年3月 pp.65~83 (B5)</p>	

### 【学会報告】

- ①日本地域政策学会 第11回全国研究【茨城】大会 分科会「地域福祉計画の実践レベルからの検証」 コメンテーター
- ②仏教看護・ビハーラ学会 第8回年次大会（淑徳大学）  
口述発表 テーマ「日本的看取りの再構築に関する研究（2）－ビハーラ病棟の「メニュー」作成を通して－」（共同）

### 【学会関連】

- ①仏教看護・ビハーラ学会理事（継続 2013年4月～2016年3月）
- ②日本地域政策学会評議員（2012年7月～2014年6月）

### 【社会活動】

- ①高崎市社会福祉審議会（身体障害者福祉専門分科会長）
- ②福祉サービス評価推進センターぐんま 調査・研究専門員

### （2）【学内業務の分野】

地域政策研究センター長（2011年4月～2013年3月）

## 2 その他の事項

### 1) 本学敷地内空間放射線量測定の実施

2011年11月2日より、定期的（月1回）に本学敷地内における空間放射線量測定（定点観測）を実施している。（現在継続中、予定として3年間実施、その時点で見直しをする予定）

測定は、地域政策学部 飯島明宏 熊澤利和、総務グループ財務チームの金子智一、高橋弘之、阿部、水野で実施している。

測定結果は、本学ホームページ→キャンパスライフ→健康管理→空間放射線量測定結果から閲覧することができる。

URL:<http://www.tcue.ac.jp/life/health/1123/index.html>（2013年5月16日現在）

### 2) 講義の方法について

担当科目すべてにおいて、行政、医療、福祉等に関連する動向を紹介している。各講義時間に対してそのための情報収集とそれを基にして講義の準備に、1回の講義に対して、同じ程度（またはそれ以上）の準備時間を費やした。